

平成25年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、和食の魅力が広まり、健康に良い等との評価で、世界中で和食店が急増しています。また、令和4年には、文化庁によって「京料理」が国の登録無形文化財に登録され、改めて食文化としての価値が認められたところです。

今日、食の多様化や家庭環境の変化等が起こる中で、伝統的な食文化を継承・発展させるためには、調理技術の進化や継承するための取組に加え、感覚や感動の科学的理解や魅力を伝える先端技術の導入も必要となっています。

さらに、「食」をめぐる私達の日常生活は、地球温暖化や食料問題等、世界や社会の動きに大きく影響を受けており、「人と地球にやさしい」取組が求められています。

そこで、和食の文化や技術などの魅力を見つめ直すとともに、食をめぐる諸課題の解決方策をフードテック（食×先端テクノロジー）の視点から考えることを目的に、産学官の多様な方々が参加する「和食情報交換会」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

日時

令和6年10月3日(木) 15:30～16:30

会場

けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

関西文化学術研究都市（京都府精華・西木津地区）<http://kick.kyoto/>

※ハイブリッド開催（会場参加、オンライン参加）

※オンライン視聴は、スマートシティエキスポ内の企画でライブとアーカイブの両方で動画配信されるため、後日視聴方法をご案内します。

内容

■講演① 海外の視点からみた日本の食文化

立命館大学 食マネジメント学部 教授
（和食文化学会会長）南 直人氏

■講演② 美味しさを深め、伝える ～京都料理芽生会の取組紹介～！

京都料理芽生会 副会長
（「京懐石美濃吉」調理総支配人 専務取締役）佐竹洋治氏

■情報交換

・質疑応答 ・意見交換 ・「和食グループ」形成協議



参加申込

申込締切：令和6年9月25日(水)

※10/3～4開催のけいはんなスマートシティエキスポとフードテックエキスポ内での開催のため、**事前に①エキスポ登録、②情報交換会の申込**をお願いします（どちらも無料、会場参加は先着順）。

①エキスポ登録



②情報交換会申込



会場余裕ある場合、当日申込可能！

主催：京都府（公益財団法人）関西文化学術研究都市推進機構

協力：和食文化学会 ※文化庁後援の「京都フードテックエキスポ2024」内の企画

＜お問い合わせ先＞

京都府農林水産部 流通・ブランド戦略課 フードテック・研究推進係

電話：075-414-4968 メール：ryutsu-brand@pref.kyoto.lg.jp

（公財）関西文化学術研究都市推進機構 学研フードテック共創プラットフォーム事務局

電話：0774-95-6123 メール：foodtech-jm@kri.or.jp 小田、清水

和食情報交換会のプログラム概要

～「和食グループ」を形成して出会いと取組の輪を大きく！～

講演テーマと要旨

海外の視点からみた日本の食文化

立命館大学 食マネジメント学部 教授

(和食文化学会会長) 南 直人氏

周知のように海外からの旅行者の第一の目的となっているのが日本食です。なぜそのように人気を集めているのでしょうか?! 以前は日本食といえば、専ら「Sushi」が海外で注目を集めていましたが、最近では「Ramen」、「Katsu-don」、「Onigiri」等多様化してます。もちろん「日本食＝健康」というイメージの力が大きいことは言うまでもありませんが、それだけでは説明できない部分も多いように思われます。

そこで海外の視点から日本の食文化がどのように解釈されるのかを考えてみます。



バンコクの店舗で撮影

和食文化学会HP <https://washoku-bunka.jp/>

美味しさを深め、伝える

～京都料理芽生会の取組紹介～

京都料理芽生会 副会長 佐竹洋治氏

「京懐石 美濃吉」調理総支配人 専務取締役

京都料理芽生会は来年で創立70周年を迎えます。この70周年記念事業としてのタイトルは「京料理の新たな試み～グローバルスタンダード～」です。

「京料理」は既にグローバルスタンダードに達していますが、更なる国際化への進展としてレトルト加工技術などを用いた備蓄食食品「美蓄食」の開発を周年事業の一環として現在取り組んでいます。これらの取組の背景や今後の方針などを紹介します。

開発中の「美蓄食」



芽生会取組紹介

芽生会HP <https://www.kyoto-mebaekai.com/>

情報交換会関連のお知らせ

プラットフォーム内の「小グループ活動」募集中!

情報交換会を契機に国・自治体等の資金を活用して共同の取組を行おうとする小グループや、けいはんな万博2025等に出展を検討する小グループを募集します。

申込や問い合わせは、学研フードテック共創プラットフォーム事務局へお願いします。

小グループ活動に関心をお持ちの方は、事務局へ相談下さい。相談の上、以下の対応をいたします。

①随伴・相談対応

- ・事務局職員が活動に随伴します。
- ・資金獲得に向けコーディネーター等が支援します。
- ・パートナーや資金提供する関係機関を紹介します。

②共同の取組を行う活動経費

- ・活動経費の一部を事務局が負担します。

③共同の取組の情報発信

- ・事務局発信のグループメールやWebで情報発信し、他機関へも協力依頼します。

【事務局への問い合わせや手続き】

希望者（代表者）は次の内容（様式任意）をプラットフォーム事務局へメール願います。

- ①希望者（代表者）氏名、住所、TEL、メールアドレス
- ②共同の取組の構成メンバー
- ③取組の概要
- ④その他（特記事項）

情報交換会参加対象

開催趣旨に賛同される方は、どなたでも参加ができます。参加者にはいずれかの会員（又は両方）に登録させていただき、メール等で各種情報をお届けします。（会費無料）詳しくは、以下をご覧ください。

<プラットフォームと研究連絡会議の紹介&登録方法 ※QRコードでご確認下さい>

■学研フードテック共創プラットフォーム事務局

(公益残団法人 関西文化学術研究都市推進機構)

電話:0774-95-6123 メール:foodtech-jm@kri.or.jp

■京都フードテック研究連絡会議事務局

(京都府農林水産技術センター)

電話:0771-22-0425 メール:ingc-kikaku@pref.kyoto.lg.jp



学研共創PF



研究連絡会議